

たしかめ

1

名前

1
あおの しんごうは すすめの あいず。

れんしゅうを 続^{つづ}けて
じょうたつした。

3 そらをとび、わた渡りどりがひらりする。

4
せき順じゆんを そうだんして きめる。

えきまえにけんちくがいのしゃがたてたビル。

たしかめ Ⅰ

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-----------------------------------|-------------|-----------------------------------|-------------|-------------|
| 建 | 席 | 飛 | 達 | 信 |
| 駅前に建築 <small>ちく</small> 会社が建てたビル。 | 席順を相談して決める。 | 空を飛び、渡り鳥 <small>わた</small> が飛来する。 | 練習を続けて上達した。 | 青の信号は進めの合図。 |

6

さいえんになのはなが咲いていた。

6

7

もくひょうにむかって^と努力よくする。

7

8

「たとえば」と、みぢかなれいで^{せつ}説明する。

8

9

ニュートンのばんゆういんりよくのほう則^{そく}。

9

10

ぎよるいからりようせい^りいにしんかした。

10

| 10 | 9 | 8 | 7 | 6 |
|---------------|-----------------------------------|-------------------|--------------|---------------------------------|
| 類 | 法 | 例 | 標 | 菜 |
| 魚類から両生類に進化した。 | ニュートンの万有引力の法則 <small>そく</small> 。 | 「例えば」と、身近な例で説明する。 | 目標に向かって努力する。 | 菜園に菜の花が咲 <small>さ</small> いていた。 |

たしかめ

3

名 前

11

あたらしいき種のゲームきをかう。

11

12

おお型のきかいをつかいのうさぎよう。

12

13

はるまつりのさいてんがおこなわれた。

13

14

かい議のしかいとき録がかりをきめる。

14

15

しゅっせきばんごうじゆんに並ぶ。

15

| 15 | 14 | 13 | 12 | 11 |
|-----------|----------------|--------------|--|--|
| 順 | 司 | 典 | 械 | 機 |
| 出席番号順に並ぶ。 | 会議の司会と記録係を決める。 | 春祭りの祭典が行われた。 | 大型 <small>がた</small> の機械 <small>がた</small> を使い農作業。 | 新しい機種 <small>がた</small> のゲーム機 <small>がた</small> を買う。 |

16

テレビばんぐみを
ろくがする。

16

17

ことばの
いみを
じてんで
しらべる。

17

18

かんじの
なりたちを
する。

18

19

おんよみと
くんよみ、
りょうほう
よむ
くんれん。

19

20

認め^{みと}の
しるしの
いんを
押^おす。

20

| | | | | |
|---------------------------------------|-----------------|-------------|-------------|-------------|
| 20 | 19 | 18 | 17 | 16 |
| 印 | 訓 | 成 | 辞 | 録 |
| 認め ^{みと} の印 ^お を押す。 | 音読みと訓読み、両方読む訓練。 | 漢字の成り立ちを知る。 | 言葉の意味を辞典で調べ | テレビ番組を録画する。 |

21

せいぶつが、こころしずかに
眺め^{なが}ます。

2 1

22

ふかいあい情^{じやう}で
こどもをそだてる。

2 2

23

さくやからゆきが
降^ふり続^{つづ}き、けさは
まっしろ。

2 3

24

みずうみに浮^うかぶ
しろといわれた
彦^{ひこ}ねじよう。

2 4

25

すいえいのしよきゆうコースを
はじめ^はめてうけた。

2 5

| | | | | |
|------------------|-----------------|--------------------|---------------|---------------|
| 25 | 24 | 23 | 22 | 21 |
| 初 | 城 | 昨 | 愛 | 静 |
| 水泳の初級コースを初めて受けた。 | 湖に浮かぶ城といわれた彦根城。 | 昨夜から雪が降り続き、今朝は真っ白。 | 深い愛情で子どもを育てる。 | 静物画、心静かに眺めます。 |

26

26

けいきよくはなびが
あがり、うつくしいけしき。

27

27

砂糖さとうに
むらがる
蟻ありの
たいぐん。

28

28

いけに
おち、ひっしに
およいで
たすかった。

29

29

きみは、チームの
かなめとして
ひつような
選せんしゅだ。

30

30

はなったやが
とおくのま
とに
てきちゅうした。

| | | | | |
|-----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------|--|----------------------------|
| 30 | 29 | 28 | 27 | 26 |
| 的 | 要 | 必 | 群 | 景 |
| 放った矢が遠くの <u>的</u> に <u>的</u> 中した。 | 君は、チームの <u>要</u> として <u>必要</u> な選手だ。 | 池に落ち <u>必死</u> に泳いで助かった。 | 砂糖に <u>群</u> がる <u>蟻</u> の <u>大群</u> 。 | 景気よく花火が上がり、 <u>美</u> しい景色。 |

たしかめ

7

名 前

31

3 1

お大阪^{おさか}ふ・きようと^ふどちらも きん^き畿ちほう。

2

3 2

とげのあるきをいばらという。

33

3 3

とちぎけんの隣^{となり}はぐんまけん。

34

3 4

とうきょうのベッドタウン、さいたまけん。

35

3 5

な良^らのみやこはきょうのみやこよりふるい。

| | | | | |
|---------------|----------------|------------|--------------|-------------------|
| 35 | 34 | 33 | 32 | 31 |
| 奈 | 埼 | 栃 | 茨 | 府 |
| 奈良の都は京の都より古い。 | 東京のベッドタウン、埼玉県。 | 栃木県の隣は群馬県。 | とげのある木を茨という。 | 大阪府・京都府、どちらも近畿地方。 |

たしかめ

8

名 前

36

にいがたけん、おいしいおこめのコシヒカリ。

37

ほう
豊富なせきゆ資源でとみを築く。

38

き
ふくいけんは、恐竜のかせきでゆうめいだ。

39

く
なしはあきの果ものだ。

40

り
うりょうけいで降るあめのりょうをはかる。

| | | | | |
|---------------|----------|-----------------|---------------|-------------------|
| 40 | 39 | 38 | 37 | 36 |
| 量 | 梨 | 井 | 富 | 潟 |
| 雨量計で降る雨の量を量る。 | 梨は秋の果物だ。 | 福井県は、恐竜の化石で有名だ。 | 豊富な石油資源で富を築く。 | 新潟県、おいしいお米のコシヒカリ。 |

たしかめ

9

名前

41

41

まいばらえきはほく陸せんとのぶんきてん。

42

42

ぎふけんはにほんのほぼちゅうおうにある。

43

43

しずおかけんはおちやでゆうめい。

44

44

むかしからつたわるでん続ぎようじのまつり。

45

45

あたらしい料りをこうあんする。

| | | | | |
|-----------------|---|------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 45 | 44 | 43 | 42 | 41 |
| 案 | 伝 | 岡 | 阜 | 岐 |
| 新 しい料理 を考 案 する。 | 昔 から伝 わる伝 統 <small>と</small> 行 事 の祭 り。 | 静 岡 県 は お茶 で有名 。 | 岐 阜 県 は 日本 の ほ ぼ 中 央 に ある 。 | 米 原 駅 は 北 陸 線 と の 分 岐 点 。 |

たしかめ

10

名前

46

46

よくわかるようにせつめいした。

47

47

じつりよくをためして
みるのがしけん
です。

48

48

リレーのせんしゅに
えらばれた。

49

49

かんこうバスにの
ってりようする。

50

50

ばんこくき、にほん
のはたはひのまるだ。

| | | | | |
|----------------|---------------|--------------|-----------------|---------------|
| 50 | 49 | 48 | 47 | 46 |
| 旗 | 観 | 選 | 試 | 説 |
| 万国旗、日本の旗は日の丸だ。 | 観光バスに乗って旅行する。 | リレーの選手に選ばれた。 | 実力を試してみるのが試験です。 | よく分かるように説明した。 |

たしかめ

11

名前

51

たにがわのながれをりようし、すいしやをまわす。

51

52

ケーキをつくるざい料りようをよういする。

52

53

そのことはかんけいないけどかかわった。

53

54

えきまでごふんいないでいける。

54

55

しゅんかしゅうとう、にほんのしきはうつくしい。

55

| 55 | 54 | 53 | 52 | 51 |
|-----------------|--------------|------------------|----------------|------------------|
| 季 | 以 | 関 | 材 | 利 |
| 春夏秋冬、日本の四季は美しい。 | 駅まで五分以内で行ける。 | その子とは関係ないけど関わった。 | ケーキを作る材料を用意する。 | 谷川の流れを利用し、水車を回す。 |

56

56

イスのたかさをちようせつする。

57

57

まちやむらがあつまってぐんになる。

58

58

せんそうは、くにとくにとのたたかいだ。

59

59

いっちやくをあらそい、チームできよう競そう。

60

60

きようのきゆうしよくはなんだろう。

| | | | | |
|-------------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 60 | 59 | 58 | 57 | 56 |
| 給 | 争 | 戦 | 郡 | 節 |
| 今日の給食は何だろう。 | 一着を争い、チームで競争。 | 戦争は、国と国との戦いだ。 | 町や村が集まって郡になる。 | イスの高さを調節する。 |

たしかめ

13

名 前

61

61

ひるめしは、ごはんを握にぎった握にぎりめし。

62

62

プレゼントをつつむほう装そうし。

63

63

あかみをおびたつちばかりの砂漠さばくちたい。

64

64

ごうきゆうするせんしゆをみていてもらいなき。

65

65

ぐんてをはめてか壇だんのはなうえ。

| 65 | 64 | 63 | 62 | 61 |
|----------------------------------|-------------------|--------------------------------------|---------------------------------|--|
| 軍 | 泣 | 帯 | 包 | 飯 |
| 軍手をはめて花壇 <small>だん</small> の花植え。 | 号泣する選手を見ているもらい泣き。 | 赤みを帯びた土ばかりの砂漠地帯 <small>さばく</small> 。 | プレゼントを包む包装紙 <small>そう</small> 。 | 昼飯は、ご飯を握 <small>にぎ</small> った握 <small>にぎ</small> り飯。 |

66

66

せんそうで
たくさんの
へい士^しが
しんだ。

67

67

鼓^こてきたいが
たいれつを
くんで
こうしんする。

68

68

わが
いつつ、
ごりんの
マークは
オリンピック。

69

69

すこやかな
そだちを
みまもる
保^ほけん師^しさん。

70

70

けんこうで
あんぜんが
いちばんの
しあわせ。

| 70 | 69 | 68 | 67 | 66 |
|--------------|------------------|---------------------|-----------------|-----------------|
| 康 | 健 | 輪 | 隊 | 兵 |
| 健康で安全が一番の幸せ。 | 健やかな育ちを見守る保健師さん。 | 輪が五つ、五輪のマークはオリンピック。 | 鼓笛隊が隊列を組んで行進する。 | 戦争でたくさんの兵士が死んだ。 |

71

おっとも かがくしやの キュリーふじん。

71

72

もちものには かならず じぶんの しめいを かく。

72

73

しゆくじつは、くにで きめた おいわいの ひ。

73

74

にもつを 積んだ かもつれっしゃが とおり過ぎた。

74

75

じどうかいで あそびの 約束を きめる。

75

| 75 | 74 | 73 | 72 | 71 |
|----------------|-------------------|-----------------|------------------|---------------|
| 児 | 貨 | 祝 | 氏 | 夫 |
| 児童会で遊びの約束を決める。 | 荷物を積んだ貨物列車が通り過ぎた。 | 祝日は、国で決めたお祝いの日。 | 持ち物には必ず自分の氏名を書く。 | 夫も科学者のキュリー夫人。 |

76

76

しよつき^{だな}棚から ガラスの うつわを とりだす。

77

77

だい腸^{ちよう}は しょうかき^{ちよう}かの ひとつです。

78

78

よいことを しようとする ところが りようしん。

79

79

えきから とほで こうこうに かよう せいとたち。

80

80

はやさを きそう ひやくメートルきようそう。

| 80 | 79 | 78 | 77 | 76 |
|---------------|------------------|------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 競 | 徒 | 良 | 官 | 器 |
| 速さを競う百メートル競走。 | 駅から徒歩で高校に通う生徒たち。 | 良いことをしようとする心が良心。 | 大腸 <small>ちよう</small> は消化器官の一つです。 | 食器 <small>だな</small> 棚からガラスの器を取り出す。 |

81

81

種^{たね}からめ^がで^るこ^とを^はつ^がい^う。

82

82

ば^いり^んに^さく^うめ^のは^な、い^い香^かり^お。

83

83

と^もだ^ちと^かえ^って^あそ^ぶや^く束^{そく}を^した[。]

84

84

雑^ざ誌^{っし}の^ふろ^くに^つい^てい^たお^もち^や。

85

85

せ^いり^ゆう^でか^らだ^をき^よめ^て修^しぎ^ゆう^する[。]

| | | | | |
|---------------|------------------|----------------|----------------|------------------|
| 85 | 84 | 83 | 82 | 81 |
| 清 | 付 | 約 | 梅 | 芽 |
| 清流で体を清めて修行する。 | 雑誌の付録に付いていたおもちゃ。 | 友達と帰って遊ぶ約束をした。 | 梅林に咲く梅の花、いい香り。 | 種から芽が出ることを発芽という。 |

86

86

おてらの かずが にほんいち おおい し^が賀けん。

87

87

おおさかめいぶつの たこ焼^やき。

88

88

どうとくは、こころの べんきようを する じかん。

89

89

いい かおりの する こうすい。

90

90

えひめけんは き^{こう}候が 穏^{おだ}やか。

| | | | | |
|-------------------------------|------------|----------------|------------|----------------|
| 90 | 89 | 88 | 87 | 86 |
| 媛 | 香 | 徳 | 阪 | 滋 |
| 愛媛県は気候が穏やか。 <small>おだ</small> | いい香りのする香水。 | 道徳は、心の勉強をする時間。 | 大阪名物のたこ焼き。 | お寺の数が日本一多い滋賀県。 |

91

91

ありた焼^{やき}で
ゆうめいなさがけん。

92

92

かいこう ひやく周^{しゅう}ねんを
いわう しゅくがかい。

93

93

やまざきさん、いわさきさん、
かわさきさん。

94

94

さんちゅうにくまが
いて ひめいをあげた。

95

95

しかの あたまには りっ派^はな
つがある。

| | | | | |
|---------------|----------------|-----------------|--------------|-------------|
| 95 | 94 | 93 | 92 | 91 |
| 鹿 | 熊 | 崎 | 賀 | 佐 |
| 鹿の頭には立派な角がある。 | 山中に熊がいて悲鳴を上げた。 | 山崎さん、岩崎さん、川崎さん。 | 開校百周年を祝う祝賀会。 | 有田焼で有名な佐賀県。 |

96

9 6

うみのおきのほうにふねがみえる。

97

9 7

おきなわけんでじょうもんじだいのどきはっけん。

98

9 8

ねつとうをそそいで、あついおちやをのむ。

99

9 9

ろう
労働しやとは、はたらくひとのことだ。

100

100

むかしはいちばでさかえていたまち。

| | | | | |
|--------------|----------------|-----------------|----------------|--------------|
| 100 | 99 | 98 | 97 | 96 |
| 栄 | 働 | 熱 | 縄 | 沖 |
| 昔は市場で栄えていた町。 | 労働者とは、働く人のことだ。 | 熱湯を注いで、熱いお茶を飲む。 | 沖縄県で縄文時代の土器発見。 | 海の沖の方に船が見える。 |

たしかめ

21

名前

1 0 1

101

えいようをしつかり撮^とって、たいりよくをやしなう。

1 0 2

102

つきがみち、こんやはまんげつ、じゅうごやだ。

| 102 | 101 |
|------------------|--------------------|
| 満 | 養 |
| 月が満ち、今夜は満月、十五夜だ。 | 栄養をしっかりと摂って、体力を養う。 |